



【R5 教育の重点】 ◎育成を目指す資質・能力を確実に身に付けさせる教育活動の推進
◎各種調査等の結果に基づいた「カリキュラム・マネジメント」の推進

石狩中学校 教育目標
「人間として美しいものを美しいと
感ずることのできるような人を育てるために」

- 心身ともに健康で よく考える生徒
- 互いに認め合い 協力し合う生徒
- 自ら進んで実行し 最後までやり抜く生徒

「呼吸法」

校長 坂見 明信

人は、赤ん坊のときには、呼吸の達人であり、深い安らぎを得ることができ、腹式呼吸を得意としているそうです。しかし、成長するにつれて、勉強や仕事、対人関係のストレスから、浅い胸式呼吸がいつの間にか、習慣になっているそうです。

もし、可能であれば、胸式呼吸の習慣を崩し、リラックスしているときに見られる腹式呼吸を心掛けたいものです。



ちなみに、一回の呼吸で出し入れする空気量（一回換気量）は、胸式呼吸では約0.4リットル、腹式呼吸では約7倍の約2.9リットルだそうです。

これらのことに、あまりにもとらわれすぎる必要はありませんが、腹式呼吸を意識してみませんか？

中学生の皆さんは、学校生活において、緊張することも多いと思います。腹式呼吸に興味のある人は、校長室に来てくださいね！

出典：藤原忠雄、「学校で使える5つのリラクゼーション技法」、ほんの森出版、2006年

〔新入生説明会開催〕

新年度の入学予定生徒数は19名。お互いのことをよく理解でき、思いやりをもち、学校生活をおくることができる人数ですね。

説明会では、中学校から学習面、生活面についての話、北海道警察からSNSの使用など関わっての注意事項、そして理科（村木教諭）の体験授業を実施しました。少し時間が長くなりましたが、しっかりとした態度で最後まで話を聞いていました。

石狩八幡小学校第6学年の児童にとって、石狩中学校にもずいぶん「親しみ＝慣れ」が感じられるようになっていないでしょうか。小中連携として「部活動体験」、「文化祭見学」、「合同防災教室」（本町、親船地区の児童）、そして「いじめ撲滅集会」と多い児童は4回、中学校を訪れて活動してきました。その効果として中学校生活のスタート時期に起きやすい、中1ギャップを未然に防止することが期待されています。4月6日（土）が入学式です。新入生の入学が今からとても楽しみです。



【NEWS】石狩中学校「生活のきまり」令和6年度VER. が完成！

「生活のきまり」の見直しに向けて、生徒アンケートを実施、その結果を基に、生徒会役員と先生で協議を重ね、再度、学級提案し審議を複数回経て完成させました。3月には、全校集会を開催し確認も行います。また、小学校とも連携して現第6学年に伝えわるようにします。生徒と先生が一緒につくり上げた「生活のきまり」です。みんなでしっかりと守りましょう。学校HPに掲載しておりますので、是非、御確認ください。

【生徒会ボランティア活動】 ～御賛同、御協力いただきありがとうございました～

★能登半島地震義援金募金活動★ 小中連携教育を進める「石狩八幡小学校」「生振小学校」の児童会にも呼び掛け、募金活動を行っています。3月1日（金）を最終日としています。集まった義援金は、日本赤十字社を通して、被災地の皆様に届けます。

★書き損じハガキ回収運動★ 学校で回収した書き損じハガキを石狩市ユネスコ協会を通じて贈呈しました。協会から3名の方が来校され、生徒会室で贈呈式を行いました。寄贈したハガキは、ユネスコ世界寺子屋運動に使用されます。



第4回石狩八幡CS委員会〔2月6日(火)〕開催

今年度、最後のCS委員会を開催し、「学校評価」に係る学校関係者評価と次年度の活動構想について協議していただきました。

さて、少し「学校評価」の仕組みについて触れてみたいと思います。学校評価は、2006年以降の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」改訂、2007年学校教育法改正によって整備されました。その中で、学校が教育活動についての説明責任を果たすために、「①自己評価の実施・公表（※生徒・保護者・教職員アンケート）」「②保護者等の学校関係者による評価の実施・公表」、「③それらを設置者（※本校の場合、石狩市教育委員会）への報告」が法令上定められています。

今回の委員会では、石狩八幡CS委員の皆様を対象に、本校で実施した自己評価の結果（適切さ）について評価＝「学校関係者評価」を実施していただき、御承認いただきました。また、評価の際には、様々な御意見をいただきました。次年度の教育活動の参考にさせていただきます。なお、石狩中学校HP「学校の概要」に、今年度の学校評価（自己評価・学校関係者評価）を掲載しております。御覧ください。



【自由参観週間・学年懇談】

今年度、最後の自由参観週間に来校いただきありがとうございました。最終日16日は、第1・2学年において



「学年懇談会」を実施しました。第1学年は、9名の保護者に参加していただきました。2学年は、参加者がわずかでしたが生徒を通じて、資料を配付しておりますので御確認をお願いします。

今後は、地域の皆様にも是非、生徒の様子を見ていただくように工夫したいと考えています。4月は、「学校説明会」



「二者懇談（新1・2学年）」も予定されています。たくさんの参加をお待ちしております。

自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立事業

「学びのカルテ」について

本校では、今年度、北海道教育委員会で進めている「自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立事業」に取り組んでいます。2月に開催された全道協議会において、本校の取組を発信しました。特に、重点を置いている取組が「学びのカルテ」に関する取組です。生徒が、個別に学習課題を把握し、明確になった課題に応じ、家庭学習「すらら（AIドリル）」に取り組む指針が「学びのカルテ」です。

今年度は6月、8月、12月と3回作成しました。12月には、学力テストの結果から各自で入力し、冬休みに取り組む課題を設定しました。少しずつ内容や形式についても改訂し、より使いやすく、効果的なものを目指しています。

学びのカルテ12月

これまでにの取組	この学期で、自己（学習）を	他者（先生）に	学びのカルテ
国語	国語の学習	国語の学習	国語の学習
数学	数学の学習	数学の学習	数学の学習
社会	社会の学習	社会の学習	社会の学習
理科	理科の学習	理科の学習	理科の学習
英語	英語の学習	英語の学習	英語の学習
学習の目標	学習の目標	学習の目標	学習の目標

「能登半島地震の被害に伴う人的支援派遣に参加して」 板垣教諭（国語科）

能登半島沖地震災害において、ボランティア活動の一環として、現地の中学生の支援に行ってきました。その時の状況を報告します。

まず現状から、生徒の「学びを保障」ために、輪島市や珠洲市などを中心に避難されている中学生を隣接する県内の他市町村へ集団で宿泊させています。宿泊施設は主に「青少年自然の家」や「スポーツセンター」などです。第1・2学年は宿泊施設近隣の中学校へ登校し、学ぶ生徒もいれば、宿泊施設で学ぶ生徒もいました。私が配置されたのは、輪島中学校第3学年ほぼ全員（100人程度）が避難している「白山青少年自然の家」という施設で、ここは、寝食・勉学の全てこの施設内で行っています。

一個人として考えさせられたのは、震災の影響が石川県内でも雲泥の差があることでした。能登半島は確かに壊滅的なダメージを受けています。家が被災し、制服がなくて私服で授業を受けている生徒も多くいました。しかし、一方で金沢市より南側などでは、震災の影響が余り感じられず、むしろ日常が始まっていたように感じます。思えば、胆振地震があった際も、被害は胆振地方に多く、北海道内には差がありました。ただ、この時は道内ブラックアウトという共有できる事象が発生したので、自分事として捉えることができたように思っています。

私が携われたのは、ほんの数日でした。生徒とふれあい、また授業も行いましたが、そのような被災され、それでも未来を見つめて行動している人々が多くいることを忘れてはいけなかったと思います。今後も支援をどのような形で取り組むかを考え続けることが重要だと思っています。

〔3月のスクールカウンセラー勤務日は、3月1日（金）&18日（月）~~19日（火）~~です。〕